




スマート農業推進の最前線

【鹿屋市における取組について ④】

事業名	茶園スプリンクラー制御装置実証事業（令和2年度から継続）		
事業目標	・ 茶の主要害虫であるクワシロカイガラムシについて、散水による防除効果を検証する。		
実証する技術	・ 湿度センサーを搭載した自動散水制御盤等を設置し、かん水作業を自動化する。		
事業内容	・ 防除作業の省力化と商品性の向上、未導入の茶園との比較により効果を検証する。		
事業経費	・ 購入費396,000円（市で購入、事業主体へ貸与） （内訳：湿度感知型電磁制御盤 2台）		
実施体制	・ 市と県、JAと連携し検討会を開催しながら普及推進を図る		
普及状況	・ 市内茶生産農家（2戸）で実証		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源、電源等の条件があり、設置個所が限定されること。 ・ 稼働の確実性の問題から凍結防除用センサーと共用不可、通年設置できないこと。 ・ クワシロカイガラムシの発生が少なく実証が出来ていないこと。 		
今後の取組	・ 取組を検証し、次年度以降の取組みにつなげたい。		
写真			
	発生状況	制御盤	枝濡れセンサー